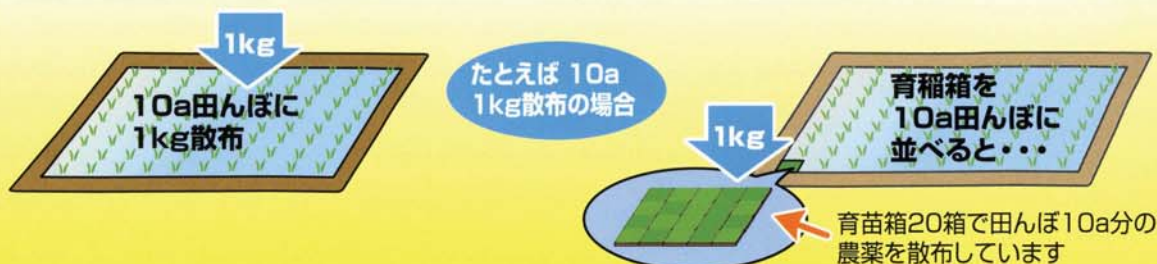


水稻育苗作業では、 散布した農薬が土壤にこぼれないよう 注意してください。

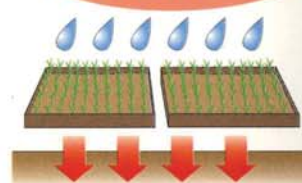
育苗箱は、田んぼをギュッと縮めた所です。育苗箱に散布する農薬の量は、田んぼに比べ多くなっています。



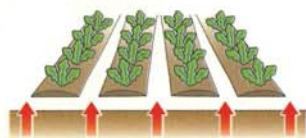
育苗箱処理剤は、田植え後も十分な効果を発揮できるように作られた製剤です
農薬散布は育苗箱の外にこぼれないようていねいな作業が重要です

育苗箱処理剤を散布する時に、育苗箱から地面に農薬がこぼれたり、薬剤処理後の灌水によって、農薬成分が土壤に浸みこむ可能性があります。

育苗中に



収穫作物に



育苗作業が終わった後の圃場で、野菜など他の作物を栽培すると、育苗作業時に土壤に浸みこんだ農薬が、作物に吸収されてしまう場合があります。

その結果、実際には使っていない農薬が収穫作物から検出されるなど、残留農薬として問題が生じる可能性があります。

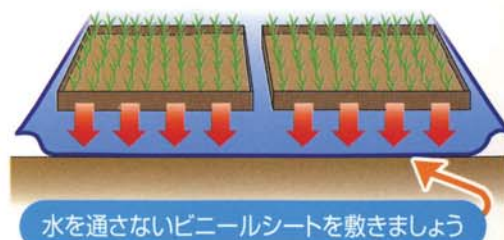


土壤に浸みこませない対策を取りましょう

育苗期に農薬散布する時は、育苗箱の外にこぼれ落ちないようにていねいに行います。

育苗箱の下に不浸透性のビニールシートなどを敷き、散布した農薬が、土壤に浸みこまないようにします。

こぼれ落ちた農薬はそのまま放置しないで、はき集めるなどして、土壤や水系などに影響のないよう処理します。



水稻育苗を行った後の同じ場所で、他の作物を栽培しないようにしましょう